



● 草の根パートナー型

平成21年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	フィリピン
2. 事業名	エコツーリズムを導入した流域単位での森林再生と環境教育事業
3. 事業の背景と必要性	実施団体は過去12年間シライ市バラリン村にて、市役所の協力の下、住民団体と共にマングローブの植林活動を続けてきた。その中で明らかになった課題のひとつとして、植林した苗木は、しばしば洪水や上流から流れてくるゴミによって被害を受けていることが挙げられる。上流部は、貴重な原生林が残る自然保護区と農村地域からなり、避暑地として多くの観光客が訪れている。しかし、地元住民や観光客の意識は低く、道沿いにはゴミが散乱し、違法伐採や森林の乱開発が行われている。本地域の環境再生のためには、従来の沿岸部のマングローブの植林だけでなく、上・下流一貫した「流域単位」での森林再生と地域住民への環境教育・普及活動の必須である。
4. プロジェクト目標	上・下流域における持続可能な森林再生モデルが形成される
5. 対象地域	西ネグロス州シライ市内のマリスボック川流域及びその周辺地域
6. 受益者層（ターゲットグループ）	シライ市マリスボック川上流、下流の地域住民団体、シライ市内の高校生、一般市民
7. 期待される成果及び活動	<p><成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住民が主体となって森林再生を行う体制が整う。 2. 学校が積極的に流域の森林再生に携わる体制が整う。 3. 都市からの観光客が植林に参加できる体制が整う。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ナーサリーの建設、環境に対する意識調査、住民団体が主体となって上流部で30ha、下流部で3haに学生や観光客と共に植樹、上下流の住民団体の交流と住民主体の森林再生の体制づくりの意見交換、上流部・下流部の継続的なメンテナンス活動 2. 上・下流での植樹・メンテナンス活動の高校生体験プログラム作成、環境教育マニュアルの作成、体験プログラム実施者育成、プログラムに沿った授業の実施 3. エコミュージアムの建設、路網の整備、観光客が植樹を体験できる体制の整備、実施者（ガイド）の育成、観光地のガイドマップ・チラシ等の作成
8. 実施期間	2010年10月～2013年9月（3年）
9. 事業費概算額	28,953千円
10. 事業の実施体制	特定非営利活動法人 イカオ・アコ、シライ市、BAMPA (Balaring Mangrove Planters Association)、BAFA (Baligwan Agro-Foresters Association)、BoMPA (Bongol Mangrove Protectors Association)
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 イカオ・アコ
2. 活動内容	マングローブ植樹プランの作成・植樹活動、それから派生する文化交流や教育交流などの関連事業、植樹祭、フィリピン工業大学において奨学金制度、日本国内においてツアー説明・報告会、バザーへの参加